

正しい解答のしかた

正しく採点を行うため、鉛筆またはシャープペンを使用して「大きく・はっきりと・ていねいに」解答いただくようご注意ください。

スキャナーで読みとった答案の画像に、○、×をつけていますので、筆記用具はなるべく濃いものを使用してください。

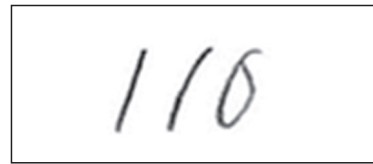
以下のような解答につきましては、たいへん厳しく採点しております。

・複数の字に読める。

「ア」が「イ」に見える



「6」が「0」に見える



・消し残し

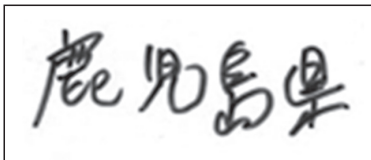


はっきり書いて
きれいに消そうね。

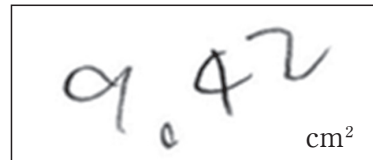


・字が雑

「つづけ字」



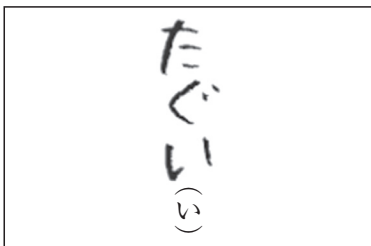
「小数点」が「0」に見える



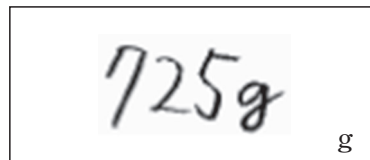
・余計な書き込み

また、問題に特別な指示がない限り、解答は1つのみ書き、余計なことは書かないでください。「余計な書き込み」は「×」になります。

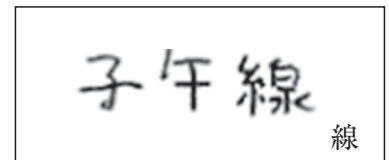
・解答用紙に刷り込みされていることばや単位と重複して書いている。



正解「たぐ」

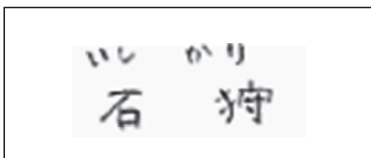


正解「725」

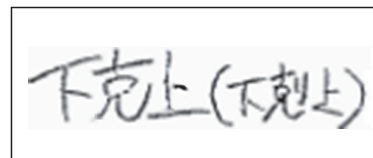


正解「子午」

・解答したことばにルビを振っている。



・問題に指定がないのに、2つ解答を書いている。



算数の注意事項

- ① 解答欄には、特に指定が無い場合は、答えのみ記入するようにしてください。式や単位や考え方など、解答以外の余計なものが書かれていると、×になることがあります。
- ② 解答は、複数の解答がある問題を除き、1つだけ書いてください。 $\frac{2}{4} = \frac{1}{2}$ や、 $\frac{2}{4} \left(\frac{1}{2} \right)$ などと書かないでください。
- ③ 分数で解答するとき、既約分数(もうこれ以上約分できない分数)で答えてください。仮分数の解答は、指定がなければ、仮分数のまま書いても、帯分数に直しても○です。ただし、規則性や数の問題で約分する前の分数を答えさせる場合など、一部例外もあります。
- ④ 小数で解答するとき、一番下の位が0となる場合は書かないでください。1.020は1.02と書いてください。ただし、目盛りの問題や、四捨五入して一番下の位が0になる場合など、一部例外もあります。
- ⑤ 比で解答するとき、最も簡単な整数の比で答えてください。ただし、比の和が指定されている場合など、一部例外もあります。
- ⑥ 整数の解答は、位取りのカンマ(一万二千三百四十五を12,345や1,2345などの位を読みやすくするためのカンマ)を付けないようにしてください。小数点と区別がつかず、小数点と判断する場合があります。
- ⑦ 小数点は、はっきり書いてください。となりの数字と重なってしまうと、書いていないと判断する場合があります。また、小数点を「○」と書くと0(ゼロ)と区別がつかなくなり、「1」と書くと1と区別がつかなくなります。区別が付きにくい場合は、×になることがあります。

国語の注意事項

(1) 字の書き方について

- ① ていねいに楷書で書きましょう。雑な字は×になります。

(例)

○

口

×

口

- ② 字体・字形はそろえましょう。また、拗音、促音は大きさに注意しましょう。

(例)

○

北

×

北

○

しゃりん

×

しゃりん

- ③ ハネ・トメ に注意しましょう。

S A P I X小学部では、教科書体(学校の教科書で使われている書体)を基準として採点しています。

ハネるところはハネないと×になります。また、トメるところはハネると×になります。

(例)

○

手

×

手

○

協

×

協

- ④ S A P I X小学部で実施のテストにおいては、基本的に教材で採用している書き方を正解として扱います。

一部辞書に掲載されていても、広く一般的に通用していないと考えられるものについては×になりますので、ご了承ください。

(例)

○

休息

×

休足

○

味方

×

身方

(2) 答えの書き方について

① 解答用紙にマス目がある場合

、	「私」
かな	の
なし	本
い	が
気	な
持	く
ち	な
。	り

- ・一マスに一文字ずつ書きます。
- ・【】や【。】や【「】も一マス使います。

正しい例

か	「私」
な	の
し	本
い	が
と	な
思	く
う	な
気	つ
持	て
ち	。

- ・【】を解答欄の外に書いてはいけません。
- ・【】や【。】や【「】を文字と同じマスに書いてはいけません。

誤りの例

② 解答用紙にマス目がない場合

じゅんくんの大切にしている黄色いグローブをよごしてしまって、申し訳ない気持ち。

- ・解答欄におさまるようにまとめましょう。

正しい例

じゅんくんの大切にしている黄色いグローブをよごしてしまって、申し訳ない気持ち。

- ・一行の解答欄の中に二行の解答を書いてはいけません。また、自分で行を書き足してもいけません。
- ・解答の途中に付け足しの記号で答えを書き足してはいけません。

誤りの例

(3) 抜き出し問題について

抜き出し問題とは、本文から答えを探してそのまま書き写す問題のことです。本文中で漢字が使われているものはそのまま漢字で書きます。ひらがなに直してはいけません。【、】や【。】も一字に数えます。

① 「一文」を抜き出す場合

「一文」とは、【、】のあとの一字目から次の【。】までを指します。

② 「部分」を抜き出す場合

「部分」とは、文の中の解答にふさわしいところを意味します。複数の文のまとまりを「部分」とする場合もあります。

理科の注意事項

(1) ことばで答えるとき

① 語句やことばで解答するとき、特に指示がない場合は、漢字・ひらがな・カタカナのどれで答えても○になります。

② 物質の名前を解答するときは、ことばで答えてください。化学記号で答えると×になります。

(例)

○	<div>水</div>	×	<div>H₂O</div>
---	--------------	---	---------------------------

(2) グラフや図をかいて答えるとき

① グラフや図をかく問題では、ていねいにかいてください。答えとしてかかれたグラフや図がわかりにくい場合には、×になることがあります。

② グラフや図をかく問題でも、定規を使わずに答えましょう。普段から定規を使わなくても正しいグラフや図がかけられるようにしておきましょう。ただし、学校別サピックスオープンなど、一部テストでは例外もあります。



社会の注意事項

(1) 地名・国名について

- ① 地名を解答する場合、空欄補充や解答欄に「平野」「川」などが印刷されている場合を除き、「平野」「川」などを付けて解答してください。

(例)利根川を解答する場合

○

利根川

○

利根

川

×

利根

- ② 複数の表記がある地名については、小中学校で使用する社会科地図帳や、国土地理院の発行する地形図の表記に用いられているものを○とします。

- ③ 国名や日本以外の地名については、小中学校で使用する社会科地図帳などで用いられている日本語表記を○とします(特に指定がない場合、正式な国名でなくてもかまいません)。

(例)アメリカ合衆国を解答する場合

○

アメリカ合衆国

○

アメリカ

×

米国

×

U S A

(2) 人名について

- ① 日本の人名については、特に指定がない場合、姓名をともに解答してください。どちらか片方のみの場合は×です。また、歴史上の天皇や上皇などに関しては、空欄補充や解答欄に印刷されている場合を除き、「天皇」「上皇」などをつけて解答してください。

(例) 藤原道長を解答する場合

○

藤原道長

×

藤原

×

道長

- ② 人名については、広く一般に通用しているものを除き、称号や当時の通称などを解答した場合は×とします。

(3) その他

- ① 解答には現在使用されている漢字を用いて解答してください。一部の人名を除き、旧字体で解答した場合は×とします。
- ② 「近江」「大和」など特殊な読み方をする地名や人名、用語の場合、漢字とひらがなを混ぜて解答した場合は×とします。
- ③ 指定がない場合、一般的にカタカナ(主に外来語)で表記する用語をひらがなで、ひらがなや漢字で表記する用語をカタカナで書いた場合は×となります。

(例) 近江国を解答する場合

○

近江国

○

おうみのくに

×

近江の国

×

近み国

(例) その他の×となる解答

×

藤原の道長

×

犬かい毅

×

あめりか

×

ちゅーりっぷ